

## 平成30年度SPOD事業評価委員会委員による評価結果及び今後の対応について（案）

### ■平成30年度事業評価委員会委員による評価について

「平成30年度SPOD事業の評価について」（※参考資料1-1）

#### 【趣旨】

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）」の事業運営に対し、平成30年度SPOD実績報告書や平成30年度中に実施した視察等をもとに、各SPOD事業評価委員会委員から個別の内容について書面で意見をいただき、今後の事業推進に役立てる。

### ■平成30年度事業評価委員会からの指摘事項のポイント（案）

#### 1. 活動計画及び活動実績について

##### （1）共通事項

#### 【指摘事項】

SPOD内委員会資料など、工夫次第では更なるペーパーレス化が期待できる。

#### 【対応】

【対応済】SPODではネットワークコア校による「ネットワークコア運営協議会」を月1回程度開催しているが、当会において資料は紙媒体では配付せず、プロジェクター投影及び各人のノートパソコン等にて閲覧することを原則としており、ペーパーレス化を促進している。

##### （2）FD

#### 【指摘事項】

嘱託講師にもプログラムが開かれていることが望ましい。

#### 【対応】

【対応済】常勤，非常勤を問わず大学，高専に雇用されている教職員には，本事業において実施する研修プログラムへの参加を認めており，これまでも参加実績がある。

#### 【指摘事項】

FDを受けた教員が，教育実践の中でどのような成果があったかを何らかの形（例えば教育活動実践報告や学生による授業アンケート改善報告など）で累積できないか。

#### 【対応】

【対応済】全ての教員のフォローアップは現実的ではないと思われるが，SPODで開催しているティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップでは，受講したFD講習の振り返りを促している。

##### （3）SD

#### 【指摘事項】

次世代リーダー養成プログラムを受講した人達が，その後どのようなようになっていったのかを検証できないか。

#### 【対応】

【対応予定】現在，愛媛大学の教職員がプロジェクトチームを作り，修了生（初段階として1～3期修了生対象）にヒアリングを行う等の検証活動を実施しており，結果がまとまり次第報告を予定している。

#### 【指摘事項】

「ソーシャルインパクト」の視点で指標を設けておくことはできないか。何を指標にするか難しいところだが考えてみる価値はある。

**【対応】**

**【対応予定】** 御指摘のとおり指標を設けることは容易ではない。指標設定ではないが、SPODで実施しているFD・SD研修プログラムの実施について教育学術新聞や経済界向けの雑誌に記事を掲載し、広報にも努めている。

**【指摘事項】**

今後更に私立大学からの次世代リーダー養成ゼミナール修了生やSPOD-SDC認定者の輩出が望まれる。

**【対応】**

**【対応予定】** 平成30年度末時点における各認定及び修了者は以下のとおりである。

- ・SDC認定者 25名（うち私立大学 2名）
- ・次世代リーダー養成ゼミナール修了者 58名（うち私立大学 19名）

なお、平成29年5月1日現在SPOD加盟校常勤教職員数は6,918名（うち私立1,628名）であり、私立：私立以外の比率はおよそ1：4である。このことを考慮すれば、次世代リーダー養成ゼミナールに私立大学職員が積極的に参加していると言える。SDCは私立大学職員の認定者が少ないことを各加盟校へ伝え、積極的な認定申請を促していく。

## （4）組織運営

**【指摘事項】**

SPODの取組を海外に向けた発信も検討していただきたい。

**【対応】**

**【対応済】** 平成30年度はアメリカ合衆国イリノイ州 Graylake 市の College of Lake County (CLC) の職員に対し、企画・実施統括者（愛媛大学小林教授）がFD・SDやSPODの取組を紹介し、意見交換を行った。今後も機会ある度にこのような発信を行っていく。

**【指摘事項】**

私立大学がネットワークコア校に参加できていない。

**【対応】**

**【対応済】**

本事業開始時からネットワークコア校は四校の国立大学が担っているが、これは私立大学を意図的に対象外としているわけではなく、大学の規模や教職員数なども考慮している。研修への私立大学の積極的な参加に加えて私立大学を会場にした研修の実施や私立大学教職員が監事を務めるなど、連携事業であるSPODの運営にも積極的に参画している。

## 2. 次年度実施に向けての提案

**【指摘事項】**

学長をはじめとして大学をリードする立場にあるメンバーが、「組織開発」をマネジメントしていくことに着目したプログラムを強化してはどうか。

**【対応】**

**【対応済】** SPODフォーラム2019において他大学の学長、理事クラスの講師によるトップリーダーセミナーを2プログラム開催するほか、学長、事務部長クラスの講師によるシンポジウムを開催する。シンポジウムのタイトルは「大学教育の組織力を高める」であり、組織開発マネジメントに資するプログラムとなっている。

**【指摘事項】**

私立大学等改革総合支援事業の採択を得るためにポイントが付されて具体的に示されている取組のうち、SPODフォーラムを含むSPOD事業として取り上げるべき項目を精査し、プログラム化することが求められるのではないか。具体的には、【タイプ1（教育の質的転換）】における「IR機能の整備」、「カリキュラム・コーディネーターの参画」、「ティーチング・ポートフォリオの作成」に資する取組あたりが該当か？

**【対応】**

**【対応予定】** SPODプログラムが私立大学等改革総合支援事業における得点獲得につながるとすれば私立大学にとって非常に有意義なことであり、SPODフォーラム2019において開講する「カリキュラム・コーディネーターのための基礎知識」が該当する。今後も加盟校内私立大学を中心に得点に結びつけられるプログラムの実施を検討していく。

**【指摘事項】**

障がい学生支援、学生とのコミュニケーションの取り方、ピアサポート体制の構築など、「学生支援・学生対応」に関するニーズが大きい。

**【対応】**

**【対応済】** SPODフォーラム2019において「発達障害の診断・傾向のある学生の対応方法」、「教職員のための『初めての合理的配慮』講座」を開講する。また講師派遣プログラムで「現代学生の理解と関わり方」を、SPOD一般プログラムにおいて「留学生とのコミュニケーション」等を開講するなど、「学生支援・学生対応」のニーズに対応している。

**【指摘事項】**

SPODの卓越性を入口段階のステークホルダー（高校生、高校教員、高校生父母、受験産業）や出口段階のステークホルダー（企業、行政）に発信してはどうか。

**【対応】**

**【対応済】**

広報（情報発信）はこれまでも御指摘をいただいた事項である。大学関係者への広報は、例えば教育学術新聞や経済界向けの雑誌である愛媛ジャーナルに記事を掲載するなど、積極的に行っている。一方、御指摘のステークホルダーは直接的な関係者ではないことや、発信の時期、発信方法などの理由から、ホームページでの情報公開に留めている。



## 「SPOD フォーラム 2019」ポスター発表募集要領

## \*ポスターセッションの日時

日 程	8月28日(水)	
発表時間	(旧)	(新)
	発表番号奇数 17:40-18:20	発表番号奇数 17:40-18:00
	発表番号偶数 18:20-19:00	発表番号偶数 18:00-18:20
		全ポスター発表 18:20-19:00
会 場	愛媛大学 城北キャンパス 共通講義棟B 1階 CR I-1 (シ-アルアイワン)	
備 品	1件あたり(長机(2チームで1台)・椅子1脚・パネル1枚)	
備 考	ポスター設置 8月28日(水) 12:00-15:30 ポスター講評 8月29日(木) 情報交換会時 ポスター撤去 8月30日(金) 13:00まで	

## \*ポスター発表のトピック

本フォーラム全体テーマ「大学教育の組織力」に関連するFD・SDの実践的知識の共有化に資する内容を幅広く募集します。

## ● カテゴリー FD・SD一般

## \*ポスター発表申込み方法

発表申込み受付期間は5月23日(木)正午-6月13日(木)正午とします。

期間内に、SPODホームページにポスターセッション申込みフォームを設けますので、申込みフォームからお申し込みください。

SPODホームページURL: <https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

なお、申込時には以下の項目を申込みフォームからご回答いただきます。

- ① 発表代表者の  
氏名・ふりがな・所属・連絡先(メール及び電話)・8/29情報交換会出欠
- ② 共同発表者の  
氏名・ふりがな・所属・連絡先(メール及び電話)
- ③ 発表テーマ(サブタイトル含め25字以内)

・会場の都合上、**先着30件まで**とし、申込み後、発表可否についてご連絡いたします。  
・ポスター発表にお申込みいただいた方も、SPODフォーラムの他のプログラムへの参加登録はSPODのWebサイト(URL: <https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>)より別途行ってください。メールでの受付は行っておりませんのでご注意ください。SPOD加盟校の教職員は6月下旬より、SPOD加盟校以外の教職員は7月中旬より、上記Webサイトよりフォーラムへの申込みが可能です(日時の詳細については、6月下旬までに発表代表者様宛にお知らせします)。

## \*ポスター発表規定等

## 1)ポスターセッションに関する規定

展示パネルのサイズ(掲示可能)は、1発表あたり縦210cm×横90cm以内。

備考：ポスター発表の講評は、8月29日（木）の情報交換会（18:30-20:30）内にて行います。

## 2) ポスター設置について

- ・ポスターセッション会場は、城北キャンパス 共通講義棟B 1階 C R I - 1です。
- ・各発表につき、事務局でポスターボード一面、机・椅子、マグネット（または画鋲）をご用意いたします。全体受付（城北キャンパス 愛大ミュージズ 1階 アクティブ・ラーニングスペース2）にて、設置箇所について御案内いたします。受付で詳細をおたずねください。
- ・ポスター設置は、8月28日（水）12:00-15:30に行ってください。  
（ポスターセッションの日時 8月28日（水）17:40-19:00）

## 3) ポスター撤去について

- ・ポスターの撤去時間については、30日（金）13:00までをお願いします。
- ・なお、上記時間までの撤去が難しい場合は、事前に撤去希望時間をお知らせください。
- ・15:00 過ぎても撤去が完了していない場合、その後の対応は事務局に一任していただきます。あしからず御了承ください。

## 4) 当日の発表対応について

- ・受付にて発表番号をお伝えいたします。奇数番号の発表者は ~~17:40-18:20~~ **17:40-18:00**、偶数番号の発表者は ~~18:20-19:00~~ **18:00-18:20** の間、必ずポスターの前で来場者への質問対応をお願いします。**また発表者全員、可能な限りにおいて18:20-19:00の間もポスター前にて説明・質疑応答を行ってください。**当日の質問対応が不可能な場合は、必ず事前にお知らせください。
- ・ポスター発表の講評は、情報交換会（29日（木）18:30-20:30）内にて行います。  
発表者はできる限り情報交換会に参加するようにしてください。
- ・記録・広報用に各ポスター、会場の様子の写真撮影、ホームページ等への掲載を行う場合がございますので、あらかじめご了承ください。

## \*フォーラム参加費用

発表1件に対して発表代表者1名分のフォーラム参加費は無料です。  
共同発表者の参加費は、お支払いいただくこととなります。参加費は、以下のとおりです。  
なお、当日ポスターセッションのみの参加の場合もお支払いいただきますのでご注意ください。

SPOD 加盟校の教職員	無料
SPOD 加盟校以外の教職員	10,000 円

※情報交換会への参加費（4000 円程度を予定）は、発表代表者も含め別途、お支払いいただくこととなります。

## \*旅費

各大学等で御負担ください。

## \*お問合せ先

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局  
（愛媛大学 教育学生支援部 教育企画課）  
TEL:089-927-9154  
E-mail: spod@stu.ehime-u.ac.jp

## SPODフォーラムポスター発表における 「優秀ポスター賞」の取扱いについて

### 1. 優秀ポスター賞について

特に優れていると考えられるポスターに対し、「優秀ポスター賞」を授与する。

### 2. 選出件数

5件程度

### 3. 審査員

- (1) 委員長（SPODフォーラム主催校教職員） 1名
- (2) 副委員長（SPOD代表校教職員） 1名
- (3) 上記以外のSPODコア校教職員 各1名

### 4. 選出方法

#### 1) 参加者による投票

- (1) SPODフォーラム参加者（受講者、講師、ポスター発表者等）に、SPODフォーラム全体受付時に投票用紙を1部ずつ配付する。
- (2) 参加者は、特に優れていると考えられるポスターを3件以内選出し、投票を行う。
- (3) 投票期間は、ポスターセッション開始時刻から情報交換会開催日の13時までとする。
- (4) SPODフォーラム主催校は、投票用紙の集計を行い、委員長及び副委員長に報告する。

#### 2) 審査員による審査

- (1) 各審査員は、ポスター発表申込みフォームに入力された「概要（400字以内）」（プログラムガイドブックに掲載して参加者間で共有）及びポスター発表者から全体受付時に提出された「ポスター縮小版（A4サイズ）」を参考に、ポスター及びポスターセッションの内容を基に審査を行う。
- (2) ポスターセッション終了後、審査員全員で協議を行い、優秀ポスター賞の候補を数件選出する。
- (3) 参加者による投票の集計結果及び審査員による協議結果を踏まえ、委員長及び副委員長が優秀ポスター賞を選出する。

なお、優秀ポスター賞には、順位を付さないものとする。

### 5. 表彰

- (1) 情報交換会において、SPODフォーラム主催校から優秀ポスター賞の発表及び表彰を行う。
- (2) 優秀ポスター賞の発行者は、SPODフォーラム事業実施責任者（主催校）とする。

----- (参考) -----

#### 【優秀ポスター賞について】

SPOD フォーラム 2018～	
1) 参加者による投票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5件程度</li> <li>・ 参加者による投票の集計結果及び審査員による審査結果を踏まえて選出する。</li> </ul>
2) 審査員による審査	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 参加者1名につき3件以内に投票</li> <li>② 審査員が各自で審査を行う。</li> <li>③ 審査員全員で協議を行い、優秀ポスター賞候補を選出する。</li> <li>④ 委員長及び副委員長が①及び③の結果を踏まえて選出する。</li> </ul>

#### 【参加者からの提出物等】

SPOD フォーラム 2018～	
ポスター発表申込みフォーム内容 ※HPに掲載し参加者間で共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表者（代表発表者・共同発表者）所属・氏名等</li> <li>・ 発表テーマ</li> <li>・ 概要（400字以内）</li> </ul>
当日提出物等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポスター（各自で該当場所に掲示）</li> <li>・ ポスター縮小版（A4サイズ）：5枚（審査員、事務局用）</li> <li>※全体受付時に提出</li> </ul>



## SPODフォーラム2019ポスターセッション取組一覧

日時：令和元年8月28日(水)17:40～19:00

場所：愛媛大学城北キャンパス 共通講義棟B 1階 CRI-1講義室

ポスター番号	テーマ	発表代表者			共同発表者
		氏名	所属	SPOD加盟校	氏名(所属)
1	全教員で行う3学年4学科横断型PBL授業Co+workの実践と成果	大塚 毅彦	明石工業高等専門学校 建築学科 イノベーションオフィス長		
2	SDGsを意識した高大協働の学びのデザイン	松井 晋作	桐蔭横浜大学		
3	ラーニングポートフォリオを用いた振り返りによる効果	吉田 博	徳島大学 高等教育研究センター	○	
4	理工系FDプログラム 半期の授業設計から発問設計へ	榊原 暢久	芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター		吉田 博(徳島大学 高等教育研究センター)
5	組織で取り組むALと学修成果の可視化	溝口 侑	京都光華女子大学短期大学部 学生サポートセンター		櫻田 詩織(京都光華女子大学短期大学部 学生サポートセンター)
6	アクティブラーニングによる保健医療福祉教育のレリハンス	岡 多枝子	人間環境大学 松山看護学部	○	三並 めぐる(人間環境大学 松山看護学部)
7	全学初年次教育を通じたAL普及に向けた取組とその課題	塩川 奈々美	徳島大学 高等教育研究センター	○	
8	文学部によるAL型授業の新たな実践とその課題	野呂 靖	龍谷大学 文学部仏教学科		滋野 正道(龍谷大学 文学部) 恩田 清範(龍谷大学 文学部教務課)
9	ALer育成に向けた教職員研修体系の構築と組織的展開	馬本 勉	県立広島大学 総合教育センター		門戸 千幸(県立広島大学 総合教育センター) 岡田 高嘉(県立広島大学 総合教育センター) 川口 博之(県立広島大学 庄原キャンパス事務部教学課) 伊藤 俊(県立広島大学 本部教学課)
10	複雑化するキャリア支援のFD・SDの相補的統合	畠 一樹	徳島大学 高等教育研究センター	○	三木 正久(徳島大学 高等教育研究センター)
11	FD・SDによる教育改善への取り組み	内田 竜司	福岡歯科大学 教育支援・教学IR室		児玉 淳(福岡歯科大学 基礎歯学部門生体構造学講座機能構造学分野) 赤間 尚希(福岡歯科大学 教育支援・教学IR室)
12	ピアチュータープログラム開発と今後の展望	大場 枝里	神田外語大学 アカデミックサクセスセンター		ホール 真由子(神田外語大学 アカデミックサクセスセンター)
13	質保証のための意識改革～FD・SDウィークの試み	杉田 郁代	高知大学 大学教育創造センター	○	塩崎 俊彦(高知大学 大学教育創造センター) 小島 郷子(高知大学 大学教育創造センター) 高畑 貴志(高知大学 大学教育創造センター)
14	九州大学 次世代型大学教育開発拠点の取り組みと成果	小林 良彦	九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター		
15	自己評価ルーブリックの異分野間共同開発の試み	大塚 みさ	実践女子大学短期大学部 日本語コミュニケーション学科		三田 薫(実践女子大学 短期大学部英語コミュニケーション学科) 清田 夏代(実践女子大学 教職センター)
16	学位プログラムの現状整理－新潟大学を事例として	上島 洋佑	新潟大学 教育・学生支援機構		
17	全学で挑む！トランスフォーマティブ・ラーニング実践	川畑 成之	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科	○	松本 高志(阿南工業高等専門学校 創造技術工学科) 小松 実(阿南工業高等専門学校 創造技術工学科) 山田 耕太郎(阿南工業高等専門学校 創造技術工学科) 太田 健吾(阿南工業高等専門学校 創造技術工学科)
18	学生による授業評価から考える授業改善	宮崎 大樹	高知学園短期大学 幼児保育学科	○	
19	循環型人材育成推進の取り組み	中嶋 克成	徳山大学 福祉情報学部		寺田 篤史(徳山大学 経済学部) 河田 正樹(徳山大学 経済学部)
20	リーダーシップ科目における振り返りのテキスト分析	佐伯 勇	甲南女子大学 人間科学部		
21	新任職員育成制度「Rising3」について	室井 ひとみ	武庫川女子大学 教務部教務課		
22	大学間連携組織のSD実践 －大学コンソーシアム大阪－	芳中 宗一郎	大阪産業大学 教育研究推進センター 教学推進課		塩川 雅美(大阪市立大学 高等教育研究院) 小林 諒太郎(大阪経済大学 総務部人事課) 宮原 秀明(大阪学院大学 庶務課兼社会連携室)

